

第2回 熊本県中枢神経分野に関する意見交換会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、(公社)熊本県理学療法士協会専門領域部は「令和7年度第2回熊本県中枢神経分野に関する意見交換会」を開催する運びとなりました。

今回は、熊本県内の中枢神経疾患のリハビリテーション栄養の課題共有を目的に、講義と意見交換会を実施いたします。中枢神経疾患の栄養障害の特徴や治療を円滑に進める上で必要な知識が得られ、臨床での取り組みや疑問を共有し解決する良い機会になると思います。中枢神経疾患の理学療法に従事されている方やご興味をお持ちの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

テーマ：『熊本県内の中枢神経疾患に関する課題の検討と情報共有 ～リハビリテーション栄養、現場でどう実践している?～』

1. 講 師：長野 文彦 先生 (熊本リハビリテーション病院)
2. 講義テーマ：脳卒中に対するリハビリテーション栄養
3. 日 時：令和7年8月30日(土) 13:30～16:30 (13:00～受付開始)
4. 会 場：熊本総合医療リハビリテーション学院(講堂1)
5. 形 式：対面(講義、グループワーク)
6. 目 的：交流の場の提供による熊本県の横の繋がりの強化、熊本県で問題となっているリハビリテーション栄養における課題を検討、情報共有を行う
7. 対 象：公益社団法人日本理学療法士協会会員、その他医療関連職種
8. 定 員：90名
9. 会 費：熊本県理学療法士協会会員：¥1,000円／県外会員・非会員：¥3,000円
10. 単位認定：登録理学療法士更新3ポイント(140リハビリテーション栄養)
認定／専門理学療法士更新 研修会 3点

11. 申込方法：

①日本理学療法士協会 会員

【熊本県士会 ¥1,000円】

【県外会員 ¥3,000円】

日本理学療法士協会ホームページもしくはアプリよりお申し込みください。

セミナー番号：143505 ←セミナー検索画面で入力しご検索ください。

お申し込み後は、協会登録のメールアドレスに自動返信メールが配信されます。

②日本理学療法士協会 非会員

【非会員 ¥3,000円】

右記QRコードよりお申し込みください。会費は当日会場にてお支払いとなります。



【非会員フォーム】

12. 申込期間：令和7年5月26日(月曜)～8月16日(土曜)まで

【お願い】お申し込み後の連絡等は全てメールで行います。必ずgmail.comからのメール受信が出来るよう設定をお願いします。申し込みの際は、携帯キャリアメールの使用はご遠慮ください。

問い合わせ先：tyuusuuinkeihan@gmail.com

担当：小原 卓己

【当日の内容】

※当日のプログラムは、進行状況により一部変更となる可能性があります。

13:00 - 13:30	受付
13:30 - 13:35	開会挨拶および講義・意見交換会の趣旨説明
13:35 - 14:45	講義「脳卒中に対するリハビリテーション栄養」
14:45 - 14:55	休憩
14:55 - 15:35	テーマ①グループワーク
15:35 - 16:25	テーマ②グループワーク
16:25 - 16:30	アンケート

※グループワークはリハ栄養に関する悩み事、自施設での取り組みを気軽に共有しましょう！
長野先生も参加してくださいます！

【講師紹介】

【講演者氏名（フリガナ）】

長野 文彦（ナガノ フミヒコ）

【所属】

熊本リハビリテーション病院

【役職】

サルコペニア・低栄養研究センター 副センター長
リハビリテーション部 臨床研究主任



【学歴、職歴】

2008 年 鹿児島大学 理学部数理情報科学科 卒業
2012 年 熊本総合医療リハビリテーション学院 理学療法科 卒業
同年 熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科 入職
現在に至る

【資格】

理学療法士
NST 専門療法士
リハビリテーション栄養指導士

【社会活動】

日本栄養・嚥下理学療法学会 理事
日本リハビリテーション栄養学会 代議員
日本栄養治療学会(JSPEN) 学術評議員
日本サルコペニア・フレイル学会 評議員
第12回日本サルコペニア・フレイル学会大会 実行委員長
第3回日本栄養・嚥下理学療法学会サテライトカンファレンス 大会長
新潟医療福祉大学臨床准教授

【業績（著書、論文、受賞歴）】

（著書）

1. 最新知識 フレイルサルコペニア. 吉村芳弘 編. 東京：日総研；2019.
2. 熊リハ発！エビデンスがわかる！つくれる！超実践リハ栄養ケースファイル. 吉村芳弘 編. 東京：金芳堂；2019.
3. サッとわかる！栄養療法のトリセツ. 吉村芳弘 編. 東京：金芳堂；2021.
4. サルコペニア 虎の巻. 吉村芳弘 編. 東京：中外医学社；2021.
5. 高齢者ケア超実践ガイド. 前田圭介 編. 東京：照林社；2024.

等

（文献）

1. 長野文彦, 他. 脳卒中患者の骨格筋量は歩行獲得の独立した予測因子である. 学会誌 JSPEN. 2019;1(2):70-79.
2. 長野文彦, 他. 起立着席運動は脳卒中の回復期患者の機能的予後を改善する. 日本サルコペニア・フレイル学会誌. 2019;3(1):92-98.
3. Nagano F, et al. Muscle mass gain is positively associated with functional recovery in patients with sarcopenia after stroke. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2020 Sep;29(9):105017.
4. Nagano F, et al. Muscle Strength Gain is Positively Associated with Functional Recovery in Patients with Sarcopenic Obesity After Stroke. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2022 Jun;31(6):106429.
5. Nagano F, et al. Cut-off values for severe low muscle strength and skeletal muscle mass in post-acute patients with sarcopenia. Geriatr Gerontol Int. 2023 Jul;23(7):493-499.
6. Nagano F, et al. Stored Energy and Recovery: A Key Factor in Post-Stroke Sarcopenia Management. Ann Nutr Metab. 2024 Nov 7:1-9.
7. 長野文彦. リハ・栄養・口腔の三位一体と理学療法士の関わり. 日本栄養・嚥下理学療法学会雑誌. 2025;2(1):24-30.
8. Nagano F, et al. Gut microbiome diversity and nutrition intake in post-stroke patients. Geriatr Gerontol Int. 2025 Apr;25(4):535-542.

共著論文 69 編 (2025 年 4 月 9 日時点)

（受賞歴）

1. 第 38 回日本臨床栄養代謝学会（JSPEN2023）フェローシップ賞
2. 第 13 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 English session 優秀演題賞
3. 第 14 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 最優秀演題賞